

旧絵鞆小「やむを得ない」

解体費1.4億円補正計上

青山市長会見

室蘭市の青山市長が30日、市役所で記者会見を開き、第3回室蘭市議会定例会（9月9日開会）に提案する議案などを説明。補正予算案に旧絵鞆小体育館棟の解体費約1億4千万円を計上したが、「やむを得ない」と理解を求めた。存廃が注目されるたんばラスキー場には「できるなら存続したい」との姿勢を示した。

（鞆子理人、林帆南） 15面に関連記事

たんばラは「存続したい」

青山市長は賛否あつた体育館棟の解体費計上について「多くの署名をいただき円形校舎2棟存続の可能性を探ったが、期待するような結果にならなかった。一

また、たんばラスキー場の存続活動を行っている室

蘭スキー連盟など関係6団体との協議を9月2日、約7カ月ぶりに再開（通算8回目）することに触れ「冬場だけではなく、年間通じた収益向上策などの観点も合わせ、税負担軽減策を話し合いたい。存続の可能性にしっかりと向き合う」とした。

一般会計補正予算案の補正額は約3億円で、旧絵鞆小の体育館棟やプールを解体する。データ入力などの業務をロボットが自動的に行うRPA導入に500万円を投じる。

室蘭言葉学園が日の出町

に整備する障害者グループホーム（GH）に約3170万円を補助する。市内初の女性限定GHで定員4人。これにより市内施設の合計定員は97人に拡大する。

元気な介護（札幌）が幸町の旧いふり荘に整備する、認知症高齢者GH（定員18人）、小規模多機能型居宅介護事業所（登録定員20人）に、約8650万円を補助する。

市場会計は約2億1900万円を補正し、新市場建設予定地となる旧室蘭高等技術専門学院の解体を行うほか、測量に着手する。

条例議案は9件で、2020年度（令和2年度）から入湯税を新たに賦課するための市税条例改正など。対象は市内五つのホテルで1人1泊150円を課税。税収は2500万〜3千万円を見込み、観光振興などに活用する。